

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	18	利用者の方と一緒に作業を行ったり、料理をすることは多くなったが利用者と一緒に喫茶や会話など落ち着いて過ごす時間が減ってきている	何事にも利用者と一緒に行う事を意識することにより会話時間を増やしていく	①喫茶は必ずスタッフも席に着いて過ごす。 ②スタッフだけでなく利用者同士でも関わられる環境を作る(席替えなど) ③最低1日10分は個別に関わる時間を作る。	6ヶ月
2	20	インフルエンザの時期、また、気温低下の時期にもなり、足が遠のいているのが現実である。	友人や家族の面会が月に1回程度になるように努力したい。	①可能であればこちらから行くようにする。 ②絵ハガキや写真などを送り関係の維持を図る	6ヶ月
3	33	全体的に介護度が重度化している。ターミナルケアに向けた取り組みも考えているが、ホームと家族で考え方が違っていった場合、ケアのゴールが設定できない。	個人のターミナルケアを家族と話し合い、ゴール設定をする。その後、家族と協力してケアに取り組む。	①来年度からターミナルケアを考慮したカンファレンスを実施し、家族の意向を把握する。 ②ライン(役割分担など)を作成し、スタッフ、家族の協同で取り組むシステム作り。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。